

第72回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

朗読部門 審査結果及び講評

順	校名	名前	得点 /600	主審講評	審査員講評	安田先生講評
1	相愛	波部	入選	言葉の明瞭さを追求。地の文とセリフの塩梅に注意。出だしが勝負。最初の一文に注力して。全体の森を見るように。最後をどう閉めるかが課題。間を工夫するように。	聞き取りやすい声。文末やや消え気味。「言い出した」のアクセント。セリフの差がよい。地の文の工夫をもう少し。セリフが上手。ナンバーコールがよい。ところどころ、文末や文の切れ目が聞き取りにくい。文末処理。変なリズムがある。う行に注意。息が多め。タ行。セリフは迫力というか、感情が薄い。大根のアクセント注意。「やらなくていい」が涙声すぎる。「違う」が不明瞭。 課題：落ち着いた表現。文末までしっかり。最後のセリフが気になる。工夫が伝わる。「カーブ」が「ハーブ」に聞こえる。全部が丁寧、大切なところはどこか考えてみよう。	作品名だけ弱くなった。最低音まで下がるのは文末だけにしてください。「勉強していた」からが波乱なのだと思いますが、しゃべりかたが切り替わりませんでした。お姉さんはそんなに超高速でしゃべるかなあ…。「持ち上げ」でポーズではないと思います。涙ぐんだ声の表現は、使わなくてもいいと思います。 課題：「にある」で止まらなくていいと思います。最初の「黒田」は、つぶねないようにしたいですね。吹かれに注意。最低音まで下がるのは文末だけにしましょう。「カーブですよ」の前の文、贅沢に表現しすぎだと思います。
2	常翔	渡邊	398	単語を明瞭に。間を自由自在に。最後と最初。セリフに注意。最初をどのように読むのか、どの文章を大事にするのか。語尾の決めが良かった。最後は決まる感じがかった。	マイクが近い。浮ついた表現。文末句末を下げよう。ブツ切れ。ややエモーショナルすぎる。情報を丁寧に伝えて。抽出の工夫を。文末（文の切れ目）のイントネーション。マイクに息が入っている。ラストの一文に違和感がある。「もえた」などアクセント注意。場面のまとまりが感じにくい。「推し」と「燃ゆ」の間に違和感。音程が一定で高いおとばかり。どうしてその抜粋にした？何を伝えたかった？声が弱い、つまった声を。伝えようとしてほしい。息が多い。音が長い。 課題：ブツブツ切らずに、かたまりで表現しよう。場面にあった表現を。文末が高い。一つ一つの言葉をきちんと音にしてほしい。息の多い声が入って内容が入ってこない。時間がご臨終の時間の伝え方のように感じた。このシーンで伝えたいことは何かを研究する習慣を。	タイトルの三つの情報が低く弱くなりすぎ。「かわらず」など、アクセントを整える努力が足りません。「SNSが」のあとのプレスは要らないのでは？最低音まで下がるのは文末だけにしてください。「拡散され」のあとのプレスも無くていいと思います。「リアルでも」で、やっと高い音が登場。そんな音が出せるなら最初から使おう。 課題：意味のまとまりの途中で息継ぎが入っています。一つ一つの情報をかみしめすぎて、話の進行が遅くなっています。
3	府いち	萩原	入選	主語述語修飾語の間。セリフと地の文の差がありすぎる。セリフが妙に浮いてしまう。最初の一秒で映像が浮かぶように。感情を込めすぎるとリスナーの想像の余地がなくなる。	地の文のイントネーションがやや気になる。セリフはそれでいい？長い文の処理をしっかりとしよう。ナンバーコールがよい。前半2文ちょっとはやい。セリフ上手。感情移入が少し強い。「はだぎ」が不明瞭。「ちよどこどもが〜」の文がうねる。同じ高い音が続く。音が浮く。少しきれいすぎる。演技は上手いが、ちょっとやりすぎ。最後の文が突然歌舞伎のようになった。 課題：日付をもっと印象的に。「帰ります」の覚悟がほしい。わかりやすい。「くろだ」の「ろ」「黒田」が不明瞭。「僕は帰ります」が男性には聞こえなかった。	「3番」だけ慌てて聞こえます。「それでもって」のあとのポーズは無くてもいいと思います。そんなに大声かなあ…。訓戒するような言葉は、どこから？地の文は安定していたと思います。「すっぽり」は無声化。「不思議な」も無声化。 課題：12月のアクセントが違います。黒田さんはとてもさわやかな人？「米国」だけ低いのはおかしいです。
4	浪速	山本	422	「あくる晩」のアクセント。間の使い方が上手。少し意味のない間がある。最初の一行の間と導入はよいが、やや単調。情景が浮かぶような読み。最後をどう表現するか。	落ち着いた読み。抽出する場面としてはやや地味な印象。このシーンで伝えたいことは？タイトルがはなっていました。セリフが上手。いい声。ラストの一文はそれでいい？響きが悪い。場面のまとまりを意識して。「番」の「ん」が不明瞭。「おちいった」「いつものように」「やすお」「うたがわなない」が不明瞭。セリフは上手だが、聞こえにくい。間を工夫している。 課題：区切りが単調。かたまりで表現しよう。最後に決意がほしい。後半がわかりにくい。少しうねっている。時間はもう少し前の文につけてよいのでは？上手い。声が弱く感じた。	「あくる晩」のアクセントが違います。なにが、いつものようなのかな？「何も疑われない」の前のポーズは長すぎだと思います。「しんにい」からのせりふ、そんなにいい声で快活に言ったかな？ 課題：最低音まで下がるのは文末だけにしましょう。日付や時刻に関する情報を、ひとつひとつかみしめなくていいと思います。「米国」だけ低いのはおかしいです。
5	梅花	川村	346	セリフに感情を込めすぎるとあまり、不明瞭になる。セリフがやりすぎるのは、目立つが難しい。読み急ぎすぎ。文章のまとまりを考える。課題は、最後の「」の意味を考えて。	「って」急に上がって気になる。地の文とのバランス。地の文の文末が消えている。地の文のイントネーション。文末が伸びています。地の文もセリフっぽい。強くなったり、弱くなったり、でこぼこしている。演技過剰。高い声なので、聞こえない部分が多い。滑舌が気になる。抜粋箇所の意図は？何を伝えたいのだろう。タ行。はねる読みが気になる。ちょっと演技しすぎ。 課題：音がややつぶね気味。文末が苦しそう。表現はそれでいい？全体に演技っぽい。音がこもる。もっと淡々と読んでほしい。意味のまとまりを意識しよう。焦って聞こえる。ドジャースが不明瞭。	題名だけ雑になりました。なるみはとってもハイテンションでロリ声ですか？「やっば」は、「つつつつつつ」という意味ではないと思います。地の文が雑になっていて、言葉が聞き取れない箇所や、滑舌が追いつかないような箇所もあります。「…人は多い」までの説明が、一喜一憂して違和感があります。放送の大会なので、放送部アナウンサーとしての伝達力も問われています。 課題：そんなに深刻で緊張感のある怖い場面ではないと思います。黒田さんは大声で宣言しましたか？

第72回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

朗読部門 審査結果及び講評

順	校名	名前	得点 /600	主審講評	審査員講評	安田先生講評
6	東	増田	入選	助詞があがる。間の使い方、強弱がよく表現できている。セリフは明瞭。最後の閉めをしっかり。間のとり方や強弱。最後のセリフに意味をもって。	文の中心部分がどこなのかを考える。もっと落ち着きがほしい。句切れ方がやや単調。後半はエモーショナルすぎる。文末にちいさな「つ」が入る時がある。「やめてくれー」のセリフは、激しいが上手。もう少し丁寧に。テンポをあげるのはいいが、声を張り上げるのは違う。最後にもう一工夫ほしい。マイクが遠い？ 早い。「あたし」が「はたし」に聞こえる。「さむさ」「いきて」不明瞭。「さみしかった」は間をおきすぎ。表現している。高い音をつかえると良い。 課題：情報をしっかり伝える読みを。高い音が多い。フレーズの作り方を練習して。「あざやか」「すずき」が不明瞭。早い。鈴木の前セリフが軽い。	ややマイクから遠いかな？「さまさ」に聞こえます。寒さに包まれている場面ではあるけど、そんなに低音だけにしないでいいのでは？「先ほどの…内蔵が」までひと塊では？ そんなに興味がなくていいと思います。「認められなくなる」のアクセントが違います。「ふれーた」になりました。 課題：地の文の発音が少女っぽくて違和感がありました。普通に伝達してほしいです。放送の大会なので、普段の声で情報を伝達する力も問われているんですよ。「パドレス」だけ高いのはおかしいです。
7	四天東	藤田	5位	情景が浮かぶ。地の文とセリフの差も良い。演技過多になっていない。間のスピードの強弱もよい。課題も映像が浮かぶ。最後のセリフを大切に。	抑制した良い表現。工夫がみられる。後半はきちんと情報が伝わる。間の使い方が上手。一文と二文の間の間のとり方。全体のテンポ。心の叫びの演じ方。作者名がゆっくりすぎた。「座った」「終わるのだ」が不明瞭。急に低くなる。全身に～が伸びる。低すぎて不明瞭になる。四方～嬉しそうに聞こえる。悲しい感情が伝わりにくい。低いところをもっと使えとよい。 課題。情報がよく伝わる読み方。地の文に工夫あり。スタジアム。「カーブですよ」に違和感。2014年のアクセント。日時をさらっと言い過ぎ？黒田のセリフが女の子っぽい。「家族」「所属」が不明瞭。	「宇佐美」の「う」だけ高く。最低音まで下がるのは文末だけにしましょう。「終わるのだ」の存在感が今一つ。1回目の「やめてくれ」の切実さが今一つ。「認められなくなる」のアクセントが違います。「さみしかった」から発音が雑になりました。 課題：「驚くほど」の「どろ」など、舌を使う音が滑りやすい。「1 1分」だけ高いのはおかしいです。「僕は帰ります」だけ大声でした。「アメリカ」だけ低いのはおかしいです。
8	千里国	芝川	424	最初の導入がよい。セリフとのバランスもよい。後半のセリフには、ただ感情を込めるだけでなく、前後の意味を考えて。課題は地の文がよれてしまっている。どの言葉が大事か、何を表現した文章なのかを考えて伝えてほしい。	自然な日本語の話し言葉の息でひょいんしてほしい。「えっ」はそれでいい？地の文の意味のかたまりを表現して。セリフはそれでいいのかを再考しよう。地の文がブツブツ切れている。新治のセリフに違和感。強弱のつけ方。最後は思入れが強い。番号が重い。「～ろう」。「しらんでいた」などアクセント。間をもっとつかんでほしい。全体のキレがほしい。「えっ」に違和感。 課題：日付もしっかり。地の文の表現に工夫を。「ドジャースか？パドレスか？」に違和感がある。文末をもっと下げて。一文目は疑問がありそうな入りに聞こえる。うねる。	「いつも押さえて」から急に低く怖くなった。「しか」のあとのプレスは要りません。「ちよこは…守って」というまとまりではないと思います。「遅すぎる…免れた」など、自然なイントネーションではない箇所がいくつかあります。「男」だけ高いのはおかしいです。最低音まで下がるのは文末だけにしてください。 課題：課題文のほうが自然に読めたと思います。「まで」だけ高いのはおかしいです。「ドジャースか？」という質問は、興奮気味ではないと思います。
9	東	後藤	入選	声優さんのよう。やや演技過多。舞台ではなく、朗読だということを意識して。地の文章が大切。聞き取りにくい文章がある。地の文がよれてしんっている。どの言葉が大事か何を表現した文章なのかを伝えてほしい。	音がやや消え気味のところがある。セリフと地の文のバランス。地の文の工夫をしてほしい。声が口の中だけで出されているように感じる。文末のひびきが悪い。もっと自然な声で。「ちがう！」の音の表情に工夫を。「し」が「ち」に聞こえる。セリフが早い。表現がよい。感情が伝わる。「ちがう」が裏返る。場面の緊迫感が伝わる。「教材」が不明瞭。 課題：「僕は帰ります」のイントネーション。地の文の読みかた。うねりがある。切りすぎ。セリフが女性っぽい。	あたしが脱衣所にいるの？「よすて」になってしまった。地の文と、あたしのせりふ、まったくの別人のように聞こえます。姉は、放送部員よりも滑らかに超高速でしゃべれるの？最低音まで下がるのは、文末だけにしましょう。「ひわないう」のような発音を、わざと使ったのかもしれないけど、効果的ではないと思います。 課題：「おどろくはたあだやかに」に聞こえました。発音が丁寧ではない箇所が、他にもいろいろありました。「米国」の「こ」が発音できませんでした。
10	浪速	渡辺	403	感情がこもっている。地の文を大切に。聞き取りにくい。課題は、間のとり方がうまい。時間にはどんな意味があるのかを考えて。最後のセリフの意味が伝わらない。	ややブツ切れに聞こえる。姉の怒りが伝わらない。地の文に工夫が欲しい。終わり方はそれでいい？地の文が読んでいる感じがある。姉の心情をもっとのびやかに伝えてほしい。声が前にとばない。「母」が「あは」に聞こえる。感情伝わらない。姉が余裕にきこえる。「別々に～」の解釈はそれでいい？表現があいまい。大根のアクセント。終わり方。 課題：音の輪郭が甘くなっている。最後は覚悟がほしい。文末の処理。滑舌が気になる。口が開いていない。ラ行。変なリズムがある。	マイクから遠すぎたと思います。「勉強のことで」など、ちょっとした箇所ですり上がってしまいます。「寝る間も」が低くて「惜しんで」だけ高いのはおかしいです。「別々に…いいじゃん」の演出は、これはこれでありだと思います。だとすると、次の「違う」はどうなるかな？「姉がちゃんと」じゃないほうがいいと思います。 課題：「マツダスタジアム」がすり上がってしまいました。何年何月何日でひと塊だと思います。母音の発音がくぐもった感じになってしまう箇所があります。

第72回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

朗読部門 審査結果及び講評

順	校名	名前	得点 /600	主審講評	審査員講評	安田先生講評
11	相愛	藤	2位	セリフと地の文のバランスが良く、間の取り方も上手。演技過多になっていない。締めも良い。課題は、その時に何がおこったのか、人物の拝啓を知ってほしい。最後の表現に工夫を。	地の文の表現がよい。セリフの抑制効いている。長い文の処理。スピード変化があればもっと良くなる。聞きやすい。登場人物の状況がよくわかる。母の声の表現と知り不の内容があっているか。文末はもう少し低く。「ちむらふくみ」に聞こえる。母を〇〇？←聞こえない。「長い歳月」が不明瞭。「織物」のアクセントを統一して。ところどころ、口が開いていないからか、聞こえない。つながる。 課題：文末がやや消え気味。ドキュメンタリーは文末をしっかり表現してほしい。聞き取りやすい。文と文のつながり方を意識して。鈴木が「つづき」に聞こえる。上手い。黒田が話していない、もっとおじさんでいい、きれいすぎる。	「呼んだ」もつぶれないほうがいいと思います。母の言葉、途中で黙る箇所があってもいいと思います。「だろう」の立て直しは無くてもいいです。「断念して」のあとのプレスは無くてもいいです。「枝に」のあとのプレスは無くてもいいと思います。課題：「にある」など、文末以外の箇所で下がりがすぎています。「米国」だけ低いのはおかしいです。
12	四天	呉	426	出だしの表現がよい。セリフと地の文のバランスがよい。情景が浮かぶ。表現力ある。課題は、ドキュメントとしての語り。最後のセリフはもっとゆっくり。	意味を伝えるようにかたまりを意識しよう。セリフはそれでいい？音の輪郭がやや甘くなる。ナンバーコールがきれい。場面が伝わる読みかた。音の粒だてを練習しよう。主人公の心情を感じたい。「冒険から帰って」の前の間が大きい。「鼻の先に～」にうねり。「私のための～」ボリュームが強い。語尾が同じ音、消える。表現している。語尾まで丁寧に。 課題：文末が消え気味。セリフにややうねりあり。セリフはそれでいい？聞き取りやすい。文末処理に注意。「カープですよ」をもっと立てて。語末や文末が消える。入りの音が全く同じ。切りすぎ。黒田のセリフが出兵のよう。	「さ」が「tha」になってしまいました。母音の「い」段が不鮮明な箇所があります。「あたしの言葉だと思った」のあとの長いポーズは、要りますか？「背負って」だけ高いのはおかしいです。何を強く言われたのか、まとまりを作って読まないと分かりにくいです。 課題：舌を使う子音が雑になりがちです。「覚えている」のあとの長いポーズは、要りますか？鈴木さんに言っただけのせりふが、大勢に向けて宣言したように聞こえました。
13	四天東	石川	4位	地の文とセリフの差がついていない。情景が表現されているが、どこに気持ちや表現を込めるのかの工夫をしてほしい。課題は、聞きやすい。セリフと地の文の差が少ない。突然終わる。	地の文に工夫を感じる。「ヒ」が「シ」に聞こえる。風景が印象的。面白い表現。わかりやすい。音が綺麗。「いそぐのだ」に注意。「あれは・・・」の表情が変わるのは？決意の強さと声の表情があわない。ふくみの「ふ」が消える。文末に間がほしい。ひかりが「しかり」に聞こえる。うまい。たまにつながつてしまっ、言葉が聞こえなくなる。再び～にうねりがある。「思い描けた」が不明瞭。 課題：ワクワク感が感じられる。数字をもっと大切に。わかりやすい。「22日後」が不明瞭。カープのアクセント。大事なところをおさえている。セリフは、黒田にしてはきれいすぎる。	「いっしゅく」に聞こえます。「絵札に」から急に高いのはおかしいです。「れーえん」と発音します。「長い」だけ低いのはおかしいです。「夫と子どものいる東京に向かって」のほうが大事では？最後の文は急に失速しました。 課題：「事務所にた」になった。「なって」のあとのポーズは要りません。「確かに」が目立ちすぎだと思います。「僕は帰ります」よりも目立っています。カープのアクセントは頭高ですが、うまくいきませんでした。
14	相愛	木村	1位	引き込まれる語りで、地の文とセリフのバランスが良い。映像が浮かぶ。語尾をしっかり。内容が伝わってくる。課題は、出だして何の話かわかるように。間の取り方も上手で、バリエーションも多い。最後のセリフが惜しい。	落ち着いた名乗り。地の文の工夫がみられる。セリフにうまく差をつけている。音が綺麗に響く。ナンバーコールがきれい。自然なセリフになっている。緩急の工夫が良い。2回目の「美しいがな」の表情。終わり方が寂しい。「若者」が「ばかもの」に聞こえる。場を自分のものになっている。上手い。間の使い方もよい。「美しいがな」の2回目は、キレイすぎる気がした。 課題。落ち着いた表現。もう少し覚悟がほしい。ラストの「カープですよ」にひと工夫を。早い。文末が消える。黒田のセリフだろうか、そのように聞こえない。	「顔」の存在感が、もうちょっとあつたほうがいい。「東のほうは」で終わってしまいました。下がりがすぎ注意。 課題：課題。語りのテンポを上げようとしたのは分かりましたが、声の出方がちょっと柔らかくなりすぎたかな？「」のあとに地の文に戻る読み方は、うまくいったと思います。
15	桃山	東浦	3位	発声が明瞭。やや過多に歌いすぎる。課題は、文章の中身や情景が伝わる。	やや歌いあげている。音の輪郭がくっきりしている。後半に自然さができてきたが、過剰に聞こえる。場面がわかりやすい。ラストの一文にひと工夫を。「と」「とき」「は」「かし」「あくる日」後半が急に早口。さらに感情移入が強い、必要か？発声がよい。聞き取りやすい声。「さもしき」が不明瞭。上下がある。古典だからよいかもしれないが、普通の朗読なら音の上下が激しすぎる。味が濃すぎる料理のような印象。 課題：情報に色をつけずに伝えて。イントネーション。過剰さ。ラストの一文がよくわかる。なかなか良い。「カープですよ」の前にもう一拍の間を。文末の音のつくりが違う。古典を引きずっているような読み。不自然な緩急。	15番のアクセントが違います。「思うことを」の「こと」「悲しきとき」の「とき」など、形式名詞を立て直してリズムを取るの癖になっていると思います。「我が働き」も、無理に低音からずり上がっているように聞こえます。内容と関係なく抑揚を施しているように聞こえます。 課題：「鮮やかにー」と伸ばさなくていいと思います。「あらいが」だけ低くなると、主語のようになってしまいます。最低音まで下がるのは文末だけにしたい。「という」から高く元気に言うのは違和感があります。

第72回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

朗読部門 審査結果及び講評

順	校名	名前	得点 /600	主審講評	審査員講評	安田先生講評
16	池田	新崎	423	頭の難しい古語表現を丁寧に。中身が伝わりにくい。発声・発音をクリアに。もっと語ろう。課題は、語尾をはっきり。どんな言葉が重要かを把握して。最後のセリフの意味を考えよう。	文末の音が鼻に抜けるクセ。しっかりと押さえつけよう。やや単調な表現。間を工夫しよう。読んでいる感じがする。聞き手に場面がよくわかるように伝えてほしい。タイトルの「算用」が不明瞭。口が横に開いているような発声。同じ上がり方、同じ間、同じ下がり方。大切なところがわかりにくい。 課題：文末の音が鼻に抜ける。ドキュメンタリー的な表現を。単調。同じイントネーションと間合いで、大切なところがわかりにくい。	「そもそも」は最初の「そ」だけ高く。最低音まで下がるのは、文末と、それに準ずる切れ目だけにしましょう。「タコ」が低くて「2杯」が高いのはおかしいです。「さた」のアクセントが違うと思います。「おのが」では？ 課題：課題に入るまでの切り替えが不十分でした。意味のまとまりを作ることができていない箇所があります。「米国」だけ低いのはおかしいです。「かって」と読んではいけません。
17	北野	碓	入選	文章や作家の意図が伝わる丁寧に読み。地の文の表現力がうまい。課題は丁寧に読んだが、やや単調。最後のセリフの意味を考えて。	場面の興奮する雰囲気が出ていない。場面にあわせた表現の工夫を。切り替えがうまくいかないの、単調に響く。ラストの一文の読み方にも少し工夫をしてほしい。主人公の思いが伝わるように読んでほしい。そこで終わっていいの？「りん」が聞こえにくい。「推し」と「燃ゆ」の間が大きい。高い音が使えとよい。人に伝える気持ちをもって。「わくろうと」が不明瞭。工夫して表現しようとしている気持ちが伝わる。 課題：この場面をどう表現するか意図が見えにくい。覚悟がほしい。文末処理。最後のセリフはもっとたつぷりと。高い音も使ってほしい。「だった」が消える。セリフはどんな感情なのか考えてほしい。	どんな存在になった？まとまりを作ってください。「おしを取り込むことは…だ」という文の存在感が今一つ。「あたし自身」でそんなに高い声を使えるなら、もっと早い段階から普通に使いたいと思います。だんだんマイクに近寄ってきて音量が上がってしまいました。 課題：課題に入ったとたんに熱が冷めてしまいました。「12月」だけ低いのはおかしいです。「ぼくは」でマイクに息がかかってしまいました。放送部アナウンサーとしての伝達力も磨いてください。
18	桃山	平良	423	セリフなのか、地の文なのかかわかりにくい。演技過多に注意。セリフは上手だが、地の文に注意。課題は地の文に高低差がありすぎる。セリフと地の文の違いと意味を考えて。	句切りが単調になっている。地の文の表現のバランスを。落ち着きがほしい。文の位置を伝えてほしい。ナンバーコールがきれい。落ち着いた声でよく読めている。途中の演技調が気になる。声につける表情やそれでいいのか？「番」が「ばあん」と聞こえる。音の幅が大きい。前半と中間がつながりにくい。心の中と現実とが同一人物で繋がれたらよい。抽出が難しい。 課題：「驚くほど」が過剰に聞こえる。情報を適切に伝えてほしい。急に強く読んでいる。表情豊か。「22日後」が不明瞭。黒田のセリフが違う。「もどるのが」のアクセント。「カーブですよ」の表現が良かった。	「おたく活動」の「く」、「口を出して」の「く」など、無声化の努力をしてください。「理由なんてあるはずがない」から別人のようになっていきました。小説の地の文の朗読には聞こえにくい音声でした。同じテンションになっていないと思います。 課題：まるで小説の朗読のようになってしまいました。黒田とやりとりした内容よりも、前段のほうが目立つ読み方になっていると思います。吹かれに注意。「戻る」は「ど」だけ高く。「かって」ではありません。
19	四天	高橋	408	読みに抑揚がありすぎる。最後があっさり終わった。 課題：大事な言葉を考える。読みにクセがでている。伝えようという気持ちが伝わる。最後のセリフを大切に。	場面を丁寧に描いて。イントネーション。うねりあり。情報をきちんと聞き手に伝えるように描いて。助詞が伸びている。ラストの一文にもうひと工夫を。句末が伸びる。フレーズの作り方を練習しよう。最後の文は弱くない方がよい。声が細い。頭に浮かんでこない。文が大きくなる。どこが大切なかわかりにくい。流れてしまうような朗読。 課題：もっと音の輪郭をくっきりと。ヘッドボイス不要。ところどころの音が消える。何が大切なのかを研究するとよい。うねりが大きい。	ややマイクから遠いかな？「もゆ」のアクセントは頭高ではないと思います。「出てきてー」と伸ばす必要はないと思います。「目が」が低くて「遭いそうに」が高いのはおかしいです。母音の発音が退廃的になる必要はないと思います。靴下のアクセントは平板でもいいんですか？最後の段落は、悪くないと思います。どうせなら、「おしは、人になった」と丁寧に読みたい。 課題：母音の発音が依然として不鮮明です。球団名は普通に言うだけでいいと思います。課題文のほうが自然だったと思います。
20	梅花	大和	425	セリフの地の文の違いを表現してほしい。情景を思い浮かべるように。最後、続いているように聞こえる。 課題：明瞭でクリア。間のとり方をもっと自由自在に。	セリフの話し方に差をつけよう。地の文は丁寧に表現して。一つ一つの語に引っ張られずに、場面全体で表現して。いい声です。音の高低差がほしい。ラストの一文に工夫を。この場面を選んだ意図は？声がよく出ている。思い浮かぶが朗読。ところどころうねる。うねりが気になる。「消える」が不明瞭。聞いた人に何を感じてほしいのかについて研究してほしい。 課題：丁寧に情報を伝えよう。間を表現しよう。高い音が多い。「ですよ」をはっきり。早い。もっとゆっくり読んでほしい。焦らず。同じ上がり方。黒田らしく聞こえない。「カーブですよ」が良かった。	「不思議」の「ふ」は無声化。「とけていくところ」の「く」は無声化。「体越しに」のアクセントが違います。「きらきらと」ではなく、何が輝いているのかを丁寧に伝えてほしいです。「ぱつと」は平板が望ましいと思います。「なんにもない」は、ただ説明するだけでいいのかな？ 課題：「なって」の立て直しは要りません。「時間まで」の「で」が下がるタイミングが遅れました。「と一瞬」から急に高いのは違和感があります。

第72回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

朗読部門 審査結果及び講評

順	校名	名前	得点 /600	主審講評	審査員講評	安田先生講評
21	千里国	三浦	418	朗々と唄っている地の文が伝わりにくい。語尾をしっかり。最後をどう表現するか。課題の発声は聞きやすい。苦手分野と説く韻文やの差がある。最後のセリフに向かってどんな過程があるのかを研究しよう。	ピーターパンの雰囲気を出そう。ここはどんな場面でしょう。場面の雰囲気（推しとの共鳴）をだそう。ナンバーコールがきれい。ピーターパンのセリフに違和感がありました。「ネバーランドへ行こうよ」は誰のセリフ？「推し」と「燃ゆ」の間が大きすぎる。文がうねる。ゆっくりすぎる。もう少し緩急がほしい、同じに奇っ超える。声が出ているが、うねりが気になる。 課題：ここからはじまる場面にあった雰囲気づくりを。覚悟がほしい。うねりが気になる。「黒田」が不明瞭。セリフに違和感。きれいすぎる印象。	「もゆ」のアクセントは頭高ではないと思います。低音からずり上がっていくイントネーションが癖になっていると思います。せりふと地の文のクオリティがずいぶん違うので、放送部アナウンサーの朗読としては違和感があります。「彼の向こうにいる」で終わってしまいました。 課題：12月が低くて26日が高いのはおかしいです。「確かにこういったのだ」が抗議するように聞こえました。「米国」だけ低いのはおかしいです。
22	箕面自	伊藤	392	聞き取りにくいセリフがある。しっかり発声している。個性ある表現。セリフは過多でなく良い。地の文の何が大事かを考えて。課題は、文章の森の全体をよく見て。声のトーンを考えて。	一文目からしっかりと場面を作って。場面がとらえづらい抽出。地の文にあった表現を。落ち着きたいいい声。少女のセリフに違和感がある。新治の音色があわない。文末が弱く、ききづらくなる。千代子のセリフが難しそう。もっとかわいい雰囲気を作ってほしい。少しシリアスすぎ？軽く読んでほしい。 課題：「鈴木は」なぜ急に下がる？悲しい出来事？声の高さ低さをもっと大きく。うねりが気になる。そんなに悲しくないはず。黒田のセリフに違和感。	「顔を」が低くて「差し出して」が高いのはおかしいです。「二人は…座っていた」のあたりから、地の文が消極的になっていきました。はつえちゃんのせりふ、もてあそぶような言い方ではないほうがいいと思いますが？「しおのかのように」は、「よ」まで高く。 課題：音域が狭くもったいなかった。
23	プール	米島	6位	セリフと地の文のバランスが良く、情景が伝わる。後半のセリフは過多。文章の表現が良い。課題は語尾が早くなっている。「帰る」の意味を考える、セリフの意味が伝わる。締め方が良い。	やや慌てているか。千代子のセリフに棒読み感がある。地の文をもう少し丁寧に変化をつけて。文末が消える。「とっさの間に」に違和感。セリフは上手ですが、新治のセリフに違和感があった。地の文のテンポはもう一工夫必要かも。セリフの表情がよい。番号タイトルをスタイリッシュに。「思いがけず」のアクセント。新治の「え？」がイメージと違う。「そんなにみにくい？」とそこまでぐいぐい聞かれると怖い。終わりがよい。 課題：場面の雰囲気。これからどうなるの？わかりやすい。どこが大切なのか、工夫がわからない。	「とっさの間にいつも押さえて」ではないと思います。「みーくい」に聞こえます。2回目はうまくいった。「守って」で切れてしまいました。エンジンがかかるのが遅いと思います。序盤からしっかり読んでほしいです。「しなから」のあとの「いった」がつぶれました。「ただ彼は急場の質問に」ではないと思います。「少女」だけ大切に言うのは違和感があります。 課題：「なって」の立て直しは要りません。課題文のほうが積極的に好印象でした。
24	浪速	田中	412	地の文の表現。「しかる」のアクセント。最後の閉め方に注意。課題：出だしと最後を大事に、間のとり方に工夫を。最後の政府を研究しよう。	抽出の冒頭が分かりづらい。面談の場面だと中盤でやっとわかった。観念的な描写。表現が単調になっている。いい場面ですね。担任の先生のセリフ、最初わかりにくい。ラストの一文もう少し工夫を。文末までしっかり伝えてほしい。主人公の心が伝わるひとことがほしい。高い声。うねる。「さんそ」が不明瞭。「しかる」のアクセント。つらい気持ちや下がっているモチベーションをもっと表現してほしい。 課題：場面の雰囲気。文末が消え気味。ラストのセリフに違和感がある。滑舌が甘いのか、キレがない。声の強さがほしい。	ややマイクから遠いかな？「あたしはそれは」じゃないほうがいいと思います。中盤から、音域を狭くすぎて窮屈になったと思います。「聞き入れる」の最初の「き」は無声化です。 課題：マイクから離れてしまったからか、慣れない文で怖くなったか、音量が下がったように感じました。でも、課題のほうが音域を広く使って積極的に読んでいます。「戻るか」とまで塊だと思います。
25	梅花	大井	398	セリフと地の文のバランスに注意。セリフなのか地の文なのかかわかりにくい。最後の閉め方に注意。課題は、地の文のイントネーションがうねりすぎる。ニュートラルに。	もっと落ち着いて場面を描いてほしい。過剰な表現。先生のセリフはそれでいい？演劇のように聞こえた。地の文が演劇風になっている。聞こえない言葉がある。この場面を選んだ意味は？声の表情は適切か。言葉がつながってきこえるため、鮮明にきこえない。ボウボウしてしまう。声の強弱がつよい。表現する箇所を分析しよう。うねり。抽出に工夫を。 課題：うねりあり。落ち着きがほしい。セリフまで考えて。高い音が多い。「帰ります」「えっ？」の表情に違和感がある。もっとシンプルに読んでほしい。歌舞伎のようなうねりを感じた。ラ行。工夫しようとしている。	番号から題名まで、本文と比べて不機嫌に聞こえました。逆に、地の文はそんなに大げさでなくていいと思います。一人芝居ではなく、小説の朗読です。しかも放送部アナウンサーとしての朗読。そんな話し方の先生は、実際にはいないのでは？ 課題：「自由契約になりました」という説明をしたいわけではないので、「なって」で止まらなくていいと思います。「帰ります」が、捨て台詞のようにとがって聞こえました。「かって」ではありません。

第72回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

朗読部門 審査結果及び講評

順	校名	名前	得点 /600	主審講評	審査員講評	安田先生講評
26	相愛	篠原	411	地の文の表現や間のとり方が上手。ややうねるが、とてもよく伝わる。 課題は、出だしの文章を大事に。セリフが感情過多になりすぎず良い。最後の閉めを大切に。	一文目から場面をつくろう。傷ついているようには気づかない。言葉の立て方の基本を身に付けよう。ナ行。ダ行。情景がわかりました。テンポ・ポーズのつけ方・文末処理。最後の一文の際立たせ方。声が弱い。「よせられ」が不明瞭。急に落ちる。ところどころ消える。ナ行。「必死」が不明瞭。滑舌の甘さが気になる。ウ行。「これからも～」の文がうねりすぎ。 課題：場面を作ろう。これはどんな場面？最後は覚悟がほしい。うなっている。最後のセリフにもう工夫ほしい。文末処理の練習をしよう。滑舌があいまい。セリフになっていない。表現しようとする意識を。	「なり」の立て直しは要りません。「どの部屋かは」のあたり、口ごもった発音になりました。あたしの部屋にある何ですか？途中で大きな息継ぎは無いほうがいいのでは？「引退しとおし」に聞こえました。 課題：「鮮やかに」の「ざや」が不鮮明です。「僕は帰ります」だけ遠くから言っているように聞こえました。「思ったのだ」のあとのポーズが長すぎると思います。
27	梅花	井倉	400	読みが早い。語尾をしっかり発音して。明瞭な読み。作品の世界観の表現が上手。最後を丁寧に。 課題：最初のシーンが最後までうつなっているのかを考えて。最後のセリフを研究して。	男たちの表現に力強さがほしい。全体に単調。間を工夫して場面を区切ろう。いい声。地の文も演技っぽい。低いところが多いが、その分響きが悪くなる。セリフの表情が良い。言葉の最後に「っ」がついている。少し早い。声が反響して聞きづらい。上手いのだが頭に思い浮かびにくい。伝える意識をもってほしい。 課題：文末までしっかり表現しよう。間で場面をつくろう。「～は」が「～あ」に聞こえる。急に強くなったことに違和感。速い。同じ文末	「船は」のあとの言葉が聞き取れません。苦手な音の部分だけ雑に急いでしまっていると思います。「人間は」のあとのプレスは無いほうがいいと思います。「一つの船が」のあとも聞き取れません。「ゆおう」ではなく、「いおう」です。 課題：やっぱり急ぎすぎに聞こえます。意味のまとまりを作ろうとしていたのは分かりました。「戻るのかと」までひと塊だと思います。
28	大倉	野村	418	出だしで引き込まれる。言葉の発音を明確に。やや聞き取れない。言葉一つ一つを大事に。明瞭に発音。 課題：「カープですよ」の意味を考えて。	「三島由紀夫」を普通に言おう。意味と関係のない上下が聞こえる。間を工夫して視点を変えて。セリフのやりとり、どっちがどっちが不明。「番」のあとに、ちいさな「ん」が入っている。言葉が続いて、流れてしまう。表現しようとしている。セリフが不明瞭に聞こえる。新治のウソがとても重大に聞こえる。 課題：場面の雰囲気をよく描けている。何か事件のような入り方。伝えたいことは何か。切りすぎ。焦っている。	「へんじ」は、レスポンスという意味ですか？「しんじは彼には珍しい」ではないと思います。「うん」は、「んん」という発音でいいと思います。 課題：始まり方がミステリアスすぎると思います。2014年のアクセントが違います。そんなに張り切って質問したかな？「といっしゅん」から高いのはおかしいです。そのあとの文を興奮して読むのはどうしてかな？